

2025 年 7 月 18 日
BBSS 株式会社

5 月度ネット詐欺レポート ～SBI 証券のフィッシングサイトが急増、前月比 9 倍に 大和証券のフィッシングサイトにも注意～

ネット詐欺レポートは毎月調査・収集した詐欺サイトを分析し、傾向をまとめたレポートです。

※「インターネット詐欺レポート」(sagiwall.jp)は、2025 年 4 月度より「ネット詐欺レポート」(netsagisoken.jp)として名称及びドメイン変更をいたしました。

目次：

- ・SBI 証券のフィッシングサイトが急増、前月比 9 倍増
- ・夏休み前のえきねっと、ETC のフィッシングサイトに注意
 - ・フィッシングサイトブランドランキング
 - ・フィッシングサイトカテゴリ別構成比
 - ・フィッシング詐欺被害防止のポイント
 - ・森 達哉教授のコメント

■SBI 証券のフィッシングサイトが急増、前月比 9 倍に

SBI 証券のフィッシングサイトが急増しており、前月比 9 倍と大きく増加しています。先月は楽天証券が最も多く報告されていましたが、5 月は SBI 証券、6 月は SBI 証券と大和証券のフィッシングサイトが増加傾向にあり、ターゲットを変えながらフィッシングサイトをばらまいている可能性もあります。狙われる証券会社には規則性がなく、大手やネットなど有名な証券会社についてはほとんどのブランドでフィッシングサイトが確認されており、すべての証券ブランドに注意が必要です。手口としてはメールや SMS などフィッシングサイトがばらまかれており、ID とパスワードを詐取するものとなります。

金融庁によりますとすでに不正取引件数は 6000 件近く、不正売買は 5,000 億を超えており、大きな被害が出ています。証券会社各社が提供している 2 段階認証などのセキュリティ対策を実施し被害を防ぐ必要があります。※1

※1 出典：金融庁

[インターネット取引サービスへの不正アクセス・不正取引による被害が急増しています](#)



大和証券のフィッシングサイト



SBI証券のフィッシングサイト

※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

■休暇前のえきねっと、ETCのフィッシングサイトに注意

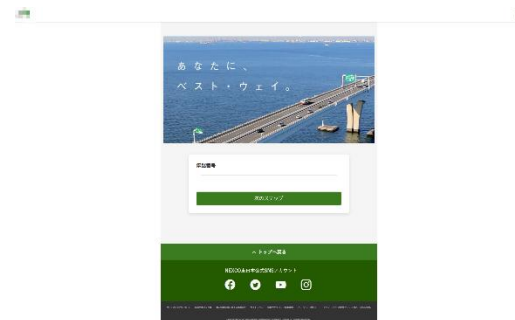
例年6～9月はえきねっとやETCなどの交通系のフィッシングサイトが増加傾向にあります。メール等でバラまかれており「自動退会に関するお知らせ」「本人情報確認」「ETCマイレージポイントの有効期限のお知らせ」といった内容でログインサイトに誘導し情報を詐取する手口です。またそのほかにNEXCO東日本やエクスプレス予約といった交通系のフィッシングサイトも確認されており、注意が必要です。



えきねっとのフィッシングサイト



ETCのフィッシングサイト



NEXCO 東日本のフィッシングサイト



エクスプレス予約のフィッシングサイト

※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

■フィッシングサイトブランドランキング

5月度は冒頭でも取り上げたSBI証券が前月比9倍となり1位となっています。前回4位であった楽天証券は半数まで減少し、ランク外となっています。またえきねっとも4倍以上増加しており、注意が必要です。ランクインはしていませんが、全体的に証券会社のフィッシングサイトが増加傾向にあります。

	2025年4月	割合	2025年5月	割合
1	Amazon	17.34%	SBI証券	17.32%
2	ヤマト運輸	8.05%	Apple	9.11%
3	JCB	5.91%	Amazon	9.05%
4	楽天証券	5.58%	JCB	7.82%
5	JAバンク	4.70%	えきねっと	5.68%
6	Apple	4.56%	ヤマト運輸	4.91%
7	楽天カード	4.44%	PayPay	3.69%
8	国税庁	3.87%	イオンカード	3.06%
9	TEPCO	3.84%	国税庁	2.91%
10	三井住友カード	3.37%	三井住友カード	2.91%

■フィッシングサイトカテゴリ別構成比

5月度は先月に引き続き証券系のフィッシングサイトが10ポイント以上増加、実数でも2倍以上増加しています。6月も同様の傾向が見られるため注意が必要です。

	2025年4月	2025年5月	
 銀行	9.15%	5.36%	
 携帯キャリア	0.38%	0.36%	
 クラウドサービス	0.00%	0.00%	
 消費者金融 キャッシング	0.00%	0.34%	
 クレジットカード	27.55%	25.21%	
 ECサイト	19.59%	11.67%	
 ポータルサイト	0.00%	0.01%	
 プロバイダー	1.27%	0.91%	

	2025年4月	2025年5月	
 官公庁	4.11%	3.42%	
 株 / 証券	12.10%	26.33%	
 SNS	2.88%	0.07%	
 仮想通貨	0.07%	0.11%	
 Webメール	0.02%	0.01%	
 Webメール ユーザー	0.00%	0.00%	
 Webサービス	22.73%	25.83%	
その他	0.16%	0.37%	

※5 ポイント以上上昇したカテゴリは赤色の矢印になります。

※5 ポイント以上減少したカテゴリは黄色の矢印になります。

■フィッシング詐欺被害防止のポイント

1. メールや SMS で案内された URL が正規の URL か確認する
メールや SMS メッセージ上のリンクはクリックせず、事前に登録しておいたブックマークやウェブ検索で正規サイトへアクセスする。または、怪しいサイトを診断する無料サービスを利用し事前に URL をチェックする
2. 個人情報やクレジットカード番号の入力を促すメール・SMS に注意する
クレジットカード会社などでは、個人情報やクレジットカード情報などについてメール・SMS での問い合わせは行っていないため、情報入力させるページに誘導するメールには細心の注意を払いましょう。
3. ログイン ID・パスワードの使い回しを控える
複数のサービスサイトで同じログイン ID・パスワードを使い回していると、フィッシング詐欺によってログイン ID・パスワードが詐取された場合、他のサービスサイトの不正利用被害に遭う可能性が高まります。被害を最小限に抑えるためにもログイン ID・パスワードの使い回しはせず、サービスごとに登録内容を変更し管理を行うようにしましょう。
4. セキュリティソフトやネット詐欺専用ソフトを導入する
犯罪者の手口は日々巧妙化しており、今まで意識してきた対策が通用しなくなる可能性があります。日々進化するネット犯罪に対抗するにはセキュリティソフトを導入することも必要です。不審なサイトにアクセスした際に注意喚起を行ってくれます。

■森 達哉教授のコメント

5月のフィッシング攻撃の傾向で特筆すべきは、証券会社を標的とした攻撃の台頭です。特に SBI 証券のフィッシングサイトが急増していますが、大手・ネット証券を問わずあらゆる証券会社が狙われているため、証券サービス利用者の皆様は契約している証券会社に関わらず警戒が必要です。また、えきねっとや ETC など交通系サービスを標的としたフィッシングサイトは以前から定期的に出現していますが、それは攻撃者がこれらの手法を依然として有効な攻撃手段として認識していることを示唆しており、やはり注意が必要です。「詐欺被害防止のポイント」として紹介された技術的な対策に加えて、このレポートで報告されているフィッシング攻撃の最新動向や具体的な手口について、日頃からご家族や周囲の方々と情報を共有することが重要です。「自分も狙われる可能性がある」という意識を持つことで、いざという時に

冷静に対処できる心構えを養うことにつながり、被害防止の重要な鍵となります。

■監修者プロフィール

森 達哉

早稲田大学 理工学術院 教授

「令和 7 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）」受賞

NICT サイバーセキュリティ研究所 招へい専門員

<会社概要>

社名：BBSS 株式会社

所在地：東京都港区海岸 1 丁目 7 番 1 号 WeWork 東京ポートシティ竹芝

代表者：代表取締役社長 兼 CEO 本多 晋弥

設立日：2006 年 1 月 17 日

株主：SB C&S 株式会社 100%

事業内容：コンシューマ向けソフトウェア、および IoT サービスの企画・開発・提供、法人向けライセンス販売

URL：<https://www.bbss.co.jp/>